

第16回 岐阜県民スポーツ大会・山岳競技 チェックポイント一覧

<p>10 水晶山</p>  <p>水晶山頂上の459mの標柱を撮影。</p>	<p>12 竜吟の滝</p>  <p>竜吟峡で最大の落差16mを誇る一の滝を、滝つぼ正面から撮影。</p>	<p>14 ドラゴン21</p>  <p>たまごから生まれる2頭の竜をイメージした陶製モニュメント。</p>	<p>16 釜戸駅前の松</p>  <p>明治35年の開通時に植えられ、広場のシンボルとなった枝ぶり見事な松。</p>	<p>18 雄白稲荷神社</p>  <p>赤い鳥居と祠を撮影。三角点近くの東屋からの眺望。</p>	<p>20 中山道二つ岩</p>  <p>烏帽子岩と母衣岩、2つの大きな岩をバックに、石碑を撮影。</p>	<p>24 JR線鉄橋ガード</p>  <p>高さ制限3.1mの標識と、鉄橋への衝突防止のガードを撮影。</p>
<p>28 宿洞公民館の複合遊具</p>  <p>滑り台、ブランコ、鉄棒、シーソーが一体となった懐かしい遊具です。</p>	<p>31 白狐温泉神明水</p>  <p>透明感のある単純炭酸泉。岐阜県の名水百選にも選ばれた名水。</p>	<p>34 八幡神社の狛犬</p>  <p>陶器で出来た狛犬が鎮座する。隣に稲荷神社もある。</p>	<p>40 琵琶峠公衆トイレ</p>  <p>小さなロッジのような立派なトイレ。水洗式です。</p>	<p>45 半原人形文学収蔵庫</p>  <p>江戸時代中期より伝わる操り人形浄瑠璃の頭や衣装の収蔵庫。</p>	<p>50 芭蕉句碑</p>  <p>中山道大井宿と名古屋城下を結ぶ下街道沿いにひっそりと建つ。</p>	<p>54 皇女和宮の陶製人形</p>  <p>皇女和宮が徳川家茂に降嫁した際、大湫宿で詠んだ歌碑もある。</p>
<p>56 天津日神社の大杉</p>  <p>見晴らしの良い高台にあるお社と、その裏にある杉の大木。</p>	<p>61 村灯籠</p>  <p>村のはずれにぽつんと佇む立派な石灯籠です。</p>	<p>63 弁財天の池</p>  <p>石橋を渡った池の中に弁財天が祭られています。</p>	<p>67 下澤弘法堂双体道祖神像</p>  <p>男の人と女の人が相寄りあって優しい表情をしている双体道祖神です。</p>	<p>70 しゃれこ坂</p>  <p>別名八丁坂とも呼ばれる、曲がりくねった道脇に建つ石碑を撮影。</p>	<p>74 酒波神社</p>  <p>境内に出雲型の狛犬があり、参拝してから撮影を。</p>	<p>77 樋ヶ沢石仏群</p>  <p>江戸時代中期に作られた多くの石仏が並んでいます。</p>
<p>82 南垣外の磨崖仏</p>  <p>水田の脇にある自然石南面に、地藏菩薩が線彫りで刻まれたもの。</p>	<p>85 デイリー瑞浪カントリークラブ正門</p>  <p>デイリー瑞浪カントリークラブの入口です。車の出入りに注意して。</p>	<p>88 神徳街道開通記念碑・馬頭観音</p>  <p>大正3年地域の道路整備を記した記念碑。</p>	<p>91 鶴ヶ城跡</p>  <p>史跡鶴ヶ城跡・本丸跡。鎌倉時代に土岐氏により築城。標高260m。</p>	<p>93 本郷十三仏</p>  <p>釈迦、文殊、地藏など十三の仏像が彫られた、珍しいもの。</p>	<p>97 権現山一里塚</p>  <p>江戸へ90里、京都へ44里を示す。当時のまま残る塚と石碑を撮影。</p>	<p>100 奥之田一里塚</p>  <p>道の両側に高さ4m直径1mの塚が、当時のままの姿で残っています。</p>

緊急連絡先

090-●●●●-▲▲▲▲

▲スタート ▶ 9:00
▲フィニッシュ ▶ 12:00
◎ポイント総得点: 1500点

得点	チェックポイント名	△ スタート △ フィニッシュ
写真		○ チェック ○ ポイント
解説・撮影方法など		

大会ルール

- ① 全員一緒に地図をもとに、制限時間内にチェックポイントを回り得点を集めます。
- ② チェックポイントでは見本と同じ写真を、撮影者を除くメンバー全員のゼッケンが映るよう写真を撮影する。なお、撮影はチームに1台の同じカメラとする。
- ③ チェックポイントに設定された数字がチームの得点となり、得点の合計点が多いチームが上位となる。
- ④ 制限時間内にゴール地点に戻り、フィニッシュ時計を撮影記録する。なお、制限時間より5分以上遅れそうな場合は、必ず緊急連絡先へご連絡ください。制限時間を過ぎた場合、1分につき30点を減点し、30分以上の遅延は失格とする。
- ⑤ GPS機能・電子媒体地図の利用は不可とし、使用が発覚した場合は失格とする。ただし、腕時計の機能の高度計の使用は可とする。

★注意事項及び禁止事項★

- ◆ 交通事故やケガ・急病等が発生したら、その場から119番通ずること。その後、必ず緊急連絡先へ連絡すること。
- ◆ 地図に描かれた一般道・登山道(徒歩道)の利用を基本とし、トレイルのないエリアでは、自然や環境に悪影響が無いよう、細心の注意を払い行動するとともに、立ち入り禁止区域や私有地などでの通行は禁止とする。
- ◆ 一般道では交通ルールを守り、安全第一に行動するとともに、地元住人やハイカーの安全に配慮して行動すること。また、寺社仏閣内は走らない、田畑・民家など私有地には入らないなど、一般的なマナーを守ること。
- ◆ 地図上で道があっても、当日通行止禁止になっている場所は利用しないこと。